

# わんにゃん通信

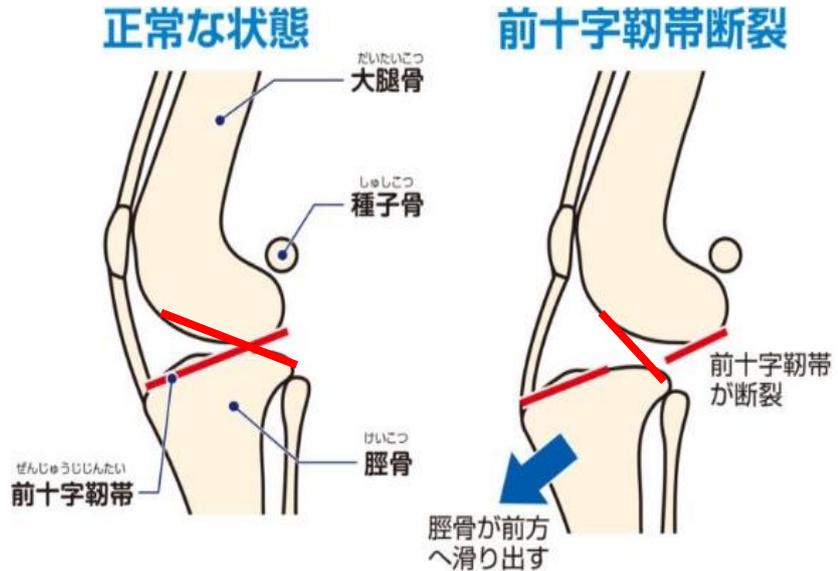
5月号  
担当：田中



今回はわんちゃんに多い**前十字靭帯断裂**についてです。

前十字靭帯は膝の関節にある靭帯のひとつです。膝の関節の中で、太ももの骨とすねの骨とをつなぎ、支えています。膝を曲げながら後ろ足に体重をかけたときに膝の関節を支える役割を果たしています。立ったまま膝の関節を曲げるときに、ガクッと膝がくずおれてしまわないでいられるのは、この前十字靭帯のおかげです。

膝の中には前十字靭帯と後十字靭帯の2つがあり、この2つを合わせて十字靭帯と呼びますが、症状が最も強く出るのは前十字靭帯が断裂した時のみです。前十字靭帯が切れてしまうことで足に力が入らなくなり、いつものように歩けなくなります。



## 前十字靭帯断裂の主な原因として



### 大型犬

「ソファから飛び降りた直後に悲鳴をあげ、後ろ足を完全に上げるようになった」  
「全速力で走り回った直後から後ろ足を引きずるようになった」  
など少しの外力で切れてしまうことがあります。

### 中型犬、小型犬

若齢時から**膝蓋骨内方脱臼**があり、特に症状がないために**放置**されると、中高齢になってから前十字靭帯断裂を発症する可能性が高くなります。



この他にも糖尿病や副腎皮質機能亢進症などの基礎疾患を持つわんちゃんでもなりやすいと言われてしています。  
中高年の避妊済みで肥満している女の子のわんちゃんでも、前十字靭帯断裂を発症するケースが多いようです。

## 症状

- ・足を引きずる・かばう
- ・足を上げたまま歩く（ケンケンして歩く）
- ・足を痛がる
- ・座り方がおかしくなる（あぐらをかくようにすわる）
- ・関節が腫れる

## 診断

触診で膝の不安定性を確認します。  
大腿骨と脛骨の位置関係をレントゲンで確認します。

## 治療

当院では主に**外科手術による治療を行っています。**

前十字靭帯断裂の手術には対象となるわんちゃんの大きさや膝の状態により様々な方法があります。

## 前十字靭帯断裂の手術後に注意することとして…

- 適正体重を常に維持する
- 滑りにくい床材に変える
- 足裏の毛や爪を定期的に切る
- 2本足でのジャンプや、急回転をさせない

うれしくてつい  
しちゃうけど膝  
にはよくないん  
だって



## 院長のコラム



前十字靭帯断裂症は一般的に大型犬に多い疾患ですが、日本では小型犬に多く発生します。本院では膝蓋骨内方脱臼を持っている小型犬が気づかずにそのまま悪い足を使用していると、中年以降に前十字靭帯が切れて跛行して来院するケースがほとんどです。よって前十字靭帯断裂に関しては小型犬の場合、膝蓋骨脱臼の有無が大変重要になってきます。膝蓋骨脱臼は程度によってはほとんど跛行していないことが多く、飼い主も気づいていないケースがほとんどです。心配な場合は動物病院で確認してもらいましょう。

